

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 大和村立大和中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV V (複数選択可)	
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 37人 村内小学生 21人 保護者・教員 30人	
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 行事名 (オリンピック・パラリンピック講演会) ② その他 (創意) (2) 地域における活動 ① イベント名 (家庭教育学級)	
4 目標 (ねらい)	(1) オリンピック・パラリンピックについての目的や意義について学ばせ、2021年自国開催の機運醸成を図る。 (2) パラリンピアンの方の生き方や価値観に触れさせ、生徒自身にこれからの生き方を考えさせる。	
5 取組内容	時期	内 容
	7月	オリンピック・パラリンピックについて調べよう
	10月	事前授業 パラリンピックについて 「I'm Possible」を活用
	10月	道徳 「今度は私の番だ」
	11月	パラリンピアンの方の生き方について学ぼう 「車いすテニスプレイヤー 国枝慎吾」についての映像を視聴する。
	11月	車いすバスケットボールについて学ぼう。 「車いすバスケットボールについてのルールを学ぶ」
	11月	オリンピック・パラリンピック講演会 車いすバスケットボールプレイヤー 網本麻里さんによる講演・実技指導
		

	
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 特にパラリンピックについてはあまり馴染みがなかったので、事前指導を行うことによって興味・関心が高まったように感じた。村内の各小学生も当日の講演を聴かせることにより、本講演が学校、保護者、地域が一体となったものとなった。</p> <p>(2) 講話の中での網本さんの挫折した時の話や、自分の障がいに対しての考え方を実際に聞くことにより、自己を振り返るよい機会にすることができた。</p> <p>(3) 全員が車いすに乗って競技を体験することにより、網本さんが相当な努力の末に様々な技能を身に付けたことを感じさせることができた。このことで、自分の今の努力について振り返らせ、向上心を持って生活することの大切さを考えさせることができた。</p> <div data-bbox="518 902 1361 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>網本さんの歩路が質問した「なぜついたらどうしようか、」に網本さんが「自分を信じてがんばること」と言っていて、すごく心に残りました。私一人だけで網本さんはつらいことを経験したと思うし、障害を克服することを網本さんは「チームポイント」と明言されていて、私も自分のマイナスのことも個性と前向きおもしろいので、それがあきらめず、私一人だけと思いません。都合がよいだけにやるだけじゃなくて「勇気を出して休んだりしていいと思います。」</p> </div>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>(1) オリンピック・パラリンピック講演会の効果が上がるように事前学習を計画的に実施した。</p> <p>(2) 実施計画を細かく作成することにより、全員が車いすバスケットを体験できるように工夫をした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業を核とした学校独自のカリキュラムを確立していくことが課題である。</p> <p>(2) 競技用車イスの確保が課題である。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>(1) 来年度もオリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業を中心として実施したい。</p>